

図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和元年
(2019年)



10

月号

第463号 (第38巻第7号)

【目次】

P 1	映画会のご案内	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

映画会のご案内

図書館本館では毎月第1土曜日に映画会を開催しています。
午前中は『こども映画会』で10時30分からアニメや
人形劇映画などを、午後は『名画鑑賞会』で13時30分から
邦画・洋画・ドキュメンタリーなどを上映しています。

上映作品は北海道立生涯学習推進センター附属視聴覚センター
などから上映権付作品をお借りしています。

会場は3階会議室です。プロジェクターからスクリーンに投影しますので大きな
画面で見ることが出来ます。申し込みは不要ですので当日会場にお越しください。

土曜日のひととき、ゆっくり映画を愉しみませんか？

みなさまのご来場をお待ちしています。



10月5日	こども映画会 (10時30分～)	「おにたのぼうし」(アニメ) 「こぎつねのおくりもの」(アニメ)
	名画鑑賞会 (13時30分～)	「続・深夜食堂」(邦画)

イベント・講座


※会場①：図書館3階会議室
②：アーニス2階イベントスペース

①ビブリオの夕べ・・・共催 いぶりびぶりぶ♪ 松田靖子さん



お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみます。

開催日時 10月17日(木) 18時～19時30分

 **当日参加可能**

②アーニス分館イベント「おりがみで作ろう！ハロウィンピック」


おりがみでハロウィンの飾りを作ります。



日時 10月26日(土) ①11時～12時 ②14時～15時

定員 各回5組(先着順)

申込 10月4日(金)10時より受付を開始します。アーニス分館へのお電話またはご来館によりお申し込みください。(電話 81-2182)


申込制

おはなし会

※会場：図書館1階えほんのへや
※入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 10月12日(土) 14時より **※毎月第2土曜日**

②おはなしぽけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど)

日時 10月26日(土) 13時30分より **※毎月第4土曜日**



ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

★まもなく開催！➡



「論語の展示会」

期間：10月 8日(火)～10月11日(金)

市内の各施設で開催している論語巡回展の一環として、論語に関する本を展示します。

主催：登別市総務部企画調整G・登別市立図書館

★まもなく開催！➡

「世界食糧デーに関する展示」

期間：10月23日(水)～11月 3日(日)

世界食糧デーとは、世界の食糧問題を考えるため国連によって制定された世界共通の国際デーです。

毎年10月16日と定められており、関連するパネル等を図書館で展示します。

事業報告

「年長児の読書感想画作品展」を開催しました

9月1日(日)より、図書館本館を含む市内3会場において「年長児の読書感想画作品展」を開催しました。

今年は市内7カ所の幼稚園・保育所から合計約250点の作品が寄せられました。

ご自身の作品を見に来場された方はもとより、たまたま会場を訪れた方々も足を止めて笑顔になるような、優しい気持ちになれる作品展となりました。



登別カトリック聖心幼稚園のみなさんも見に来てくれました!

<鶯別会場>



<図書館本館>



<登別会場>



インターンシップ感想

9月12日(木)・13日(金)の2日間、登別市立図書館でインターンシップが行われました。体験後感想を頂きましたので紹介します。

北海道室蘭東翔高等学校 野村さん

●図書館内の本や資料の数の多さが想像以上で驚きました。よく図書館で借りていた本の表現の出来ない触り心地のあのカバーをつける仕事がこんなにも難しいものだとは思っていませんでした。

カバーかけは中に空気が入ったり、シールが違う場所に付いたりしてしまい一番大変に感じた仕事でした。

しかし、どの仕事も達成感が強く、やりきれたことが嬉しかったので2日間という短い時間の中でも楽しく仕事が出来ました。



*野村さん、2日間お疲れ様でした。図書館では毎年定期的にインターンシップ・職業体験の受け入れを行っています。慣れない仕事でお待たせすることもあるかと思いますが、温かく見守っていただけますよう、よろしく願います。

アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 雑誌の最新号の一夜貸しをしています。
- * 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



🎃 10月26日(土)にアーニス2階でイベントを行います！ 詳しくは2ページをご覧ください。



館内奥の柱の所にある「OPAC」の隣に設置しました。絵本コーナーも近いので、是非ご利用下さい！



《返却棚を2ヶ所設置しました》

館内で閲覧した本を元の場所に戻そうと思ったら、ギュウギュウで入れにくかった事は、ありませんか？

気になった本は、どんどん手に取って頂いて気軽に返却棚へ置いて下さい！

☆ 貸出済の本は従来通り、カウンターに返却をお願いします。



雑誌コーナーの上に設置しました。週刊誌等は冊数も多く、戻しにくくなっておりますので、是非ご利用下さい！



《新刊おすすめ本紹介》



ハシビロコウのすべて / 今泉 忠明 監修 / 廣済堂出版



「動かなくてカッコいい鳥」として人気のハシビロコウ。その謎の生態から身体の構造まで詳しく解説。野生の姿や国内で飼育している13羽すべての姿をフルカラーの写真で紹介。ハシビロコウに会える7つの動物園リストも掲載。



ハシビロコウの様々な表情の写真を見ると、顔や羽根の形もそれぞれ違う個性派ぞろいでした。クスッと笑えて段々可愛く見えてきます。ハシビロコウの魅力が満載の一冊です。

市民のひろば

「人と人をつなぐ場」

登別市学校司書 原美紀

みなさんは「仮想図書館」ときいて何をイメージされるでしょうか。身近にインターネットがある今日、パソコンの画面の中に、本の画像がズラリと並ぶ仮想書架を思い浮かべる人も少なくないと思います。私がここで紹介したいのは、そんな近未来的な世界ではありません。「ヒューマンライブラリー」という生身の人間が織りなす仮想図書館の世界です。

「ヒューマンライブラリー」を直訳すると「人間図書館」ですが、これは「人を本に見立てて読者に貸し出す」催しのことを言います。今から約20年前、デンマークの暴力追放をテーマにしたロックフェスティバルのイベントとして行われました。社会の中で偏見や誤解を受けやすい人々が「生きた本」となり、「読者」である参加者と対話を重ねていく試みです。ヒューマンライブラリーの活動は、差別や偏見を減らし、互いを知り合う場として多くの人たちに利用されています。

日本でも大学を中心に10年ほど前から取り込まれるようになりました。昨年、その歩みをまとめた『ヒューマンライブラリー：多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究』（明石書店）という本が上梓されています。これまで「生きた本」となったのは元薬物依存症患者、Xジェンダー、難民など社会の中で少数とされる人々。心や身体に生きにくさを抱えた人の言葉には、生きた本だからこそ伝えられる勇気とリアリティがあります。「本」を傷つけないというルールさえ守れば、「読者」から質問することも可能です。対等な言葉の交流は、自らの視野を広げ、多様な価値観の理解につながります。

彼らとともにヒューマンライブラリーにおいて重要な役割を果たすのが、「本」と「読者」を結ぶ「司書」（主催者）の存在です。当日の運営はもちろんのこと、開催趣旨にそって「本」となる方々を探し、対話を重ねながら一番の理解者にもならなければなりません。司書として奮闘した大学生たちの体験記は、苦悩や葛藤が素直に綴られ非常に心打つものがありました。

意外にも、公立図書館でヒューマンライブラリーを開催した例はまだ少ないようです。上記書籍の中で、一般の図書館で行うヒューマンライブラリーは『利用者が受動的に情報を受け取り理解するこれまでの情報フローに加え、体験を通して情報を得るという体験型図書館の一つのモデル』になるのではと期待を寄せています。

登別市立図書館でも、ビブリオバトル（本を紹介し合う書評合戦）など体験型の催しが定期的に行われています。いま公立図書館は、人と本だけでなく、人と人を結ぶ場としての役割も強く求められているのかも知れません。

一冊の本を求めて

以前は知りたい事があれば、書店やインターネットに頼るも、知識や検索力がないため、無駄なお金と時間を使い部屋には本が貯まってしまっただけでした。

図書館で働くようになって、書店やインターネット書籍などと違って、思っていた以上に資料がありました。過去の新聞や昔の地図、コンビニでも見かける主婦向けの雑誌やファッション誌、沢山の絵本や児童書などだけではなく、主な業界誌や専門誌、話題の最新書物はもちろん、何時の間にか絶版になってしまった本など、多くの資料などが集めてあります。館内で目にする棚以上に書庫や開架庫、郷土資料室などに並んでいる本の数も多いです。しかも、パソコンの検索機能を使用して館内は勿論、欲しい資料も地元以外の他市の図書館から取り寄せることも可能で街の書店の何倍もの資料が揃えられるのは、図書館だからこそその魅力だと思います。

物流担当に就いて、4ヶ月ほどです。図書館の利用者さんからは「見えない仕事」の部署で書籍を段ボール箱に入れて、分館・各配本所や幼稚園などへの団体貸出、週一度の他市との物流を行い、担当者とのコミュニケーションや毎日の書籍の流れを掴むこともできるようになりました。物流作業が終われば館内作業のカウンター補助に就きます。しかし一冊一冊の本の扱いが、なかなか難しく、図書館の魅力を出す「見える仕事」として、とても大切なのですが、何冊もの本を抱えながら本棚の間を行き来したり、踏み台で高い所の本を取ったり、屈んだ姿勢で本を探したりと意外に労力を要し、時間帯や曜日によっては忙しく気力と体力を要する仕事です。

毎日が反省と発見の繰り返しです。利用者さんが増えカウンターも忙しくなって来たときに、予約本などを探し開架庫や書庫で、なかなか探しきれず時間が掛かっていると、他の職員から「別の職員が探してみるのを見つからなければ一旦諦めて！カウンターに戻って来て」と言われ、

“心の中で ”

私の生き方に「諦める」などという言葉などない！・・・はずなのに、

探し物を探すのは、見つけた喜びが意外と好きなのに！・・・

見つけ出せないと、何時までも気になるタイプなのに！・・・

と少し落ち込みチョットは反省。

先輩職員達は、電話での問い合わせや突然の質問にも応えるための検索力で適切な資料を選び出し、利用者さんの「読みたい、知りたい」と思う気持ちに応えようとしており、その行動力には脱帽するばかりです。



北海道の歴史散歩 北海道高等学校日本史教育研究会編／山川出版社



北海道の博物館、美術館及び史跡巡りをしたいと考えたときに参考になる一冊です。

2006年の出版なので中に書かれている情報は少し古いという感じがしますが、住所、駅から歩いて何分という表示がされており、掲載の地図から大まかな所在がわかるように表示されていますし、モデルコースも示されているので、旅行ガイド歴史版という感じで使えるものとなっています。

史跡や建物の歴史的経緯が豊富に書かれており、それを読むだけで、その地域の歴史にも詳しくなります。

これを読んで興味を持った史跡や建物の時代背景を知りたいと思ったら、本館に所蔵してある北海道の歴史に係わる本を読んでみるのもいいかもしれません。

郷土資料紹介

北海道の歴史がわかる本 桑原 真人・川上 淳著／亜璃西社

北海道の歴史がトピック別に分かれて書かれており、2008年に出版された同名本の増補版になります。それぞれの記述は長くはなくコンパクトに収められており、またジンギスカンのいわれ等、道民には身近なトピックも扱われています。

また、2018年に出版された本なので最近の項目も扱われています。郷土資料で紹介するこの項目の原稿を書こうと思ったときに見つけて紹介しようと思ったものです。文章はトピック別に書かれているせいか比較的短く書かれており、先に紹介した上記の本で紹介された項目の歴史背景を知るにも丁度良い内容と分量となっているように思います。

またそれぞれの項目の末尾には参考文献も掲載されており、もし、自分の気になったトピックがあれば、それを手掛かりに深く掘り下げてもいいかもしれませんし、また、アイヌ民族に関する本や北海道の歴史に関する本も本館には所蔵されていますので、知識を広げてみるのもいいかもしれません。



新着図書案内 令和元年10月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		シニアひとり旅 インド、ネパールからシルクロードへ	下川 裕治
●まなの本棚	芦田 愛菜	大人のアクティビティ! 日本でできる28の夢のような体験	小林 希
ベストセラー全史 近代篇	澤村 修治	一度は泊まってみたい! 北海道の温泉宿	小野寺 淳子
揚げば尊し、和菓子のON?	高崎 康史	一日乗車券でめぐる東京さんぽ	JTBパブリッシング
なぜ本を踏んではいけないのか 人格読書のすすめ	齋藤 孝	3 政治・経済・社会・教育	
子どもの本のもつ力	清水 真砂子	アラマタヒロシの妖怪にされちゃったモノ事典	荒俣 宏
本棚から読む平成史	岡ノ谷 一夫ほか	定年前後の知らなきゃ損する手続き得ガイド	土屋 信彦
答えは本の中に隠れている	岩波ジュニア 新書編集部	水害列島	土屋 信行
1 哲学・宗教		明治期北海道の裁判制度	牧口 準市
50歳からのゼロ・リセット	本田 直之	魔除けの民俗学	常光 徹
『お金持ち列車』の乗り方	末岡 よしのり	国家を食べる	松本 仁一
心。人生を意のままにする力	稲盛 和夫	酒の日本文化史 ほろ酔いばなし	横田 弘幸
喪失学「ロス後」をどう生きるか?	坂口 幸弘	ひとり老後、賢く楽しむ	岸本 葉子
手相でつくる幸せ	桑原 良枝	●ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ
●時間術大全	ジェイク・ナップ/ ジョン・ゼラツキー	ドキュメント「令和」制定	日本テレビ政治部
「カルト」はすぐ隣に オウムに引き寄せられた若者たち	江川 紹子	ある「BC級戦犯」の手記	冬至 堅太郎
よくわかるお経読本 大活字版	瓜生 中	教育格差 階層・地域・学歴	松岡 亮二
2 歴史・地理		●止まった刻(とき) 検証・大川小事故	河北新報社報道部
教師人生	フランク・マコート	夫婦幻想 子あり、子なし、子の成長後	奥田 祥子
城崎・天橋立 竹田城跡 '20	昭文社	●北海道民のオキテ なるほど! グルメの謎編	さとう まさ・ さとう もえ
廃線探訪入門	「旅と鉄道」編集部	余命3年社長の夢	小澤 輝真
人生で大切なことは泥酔に学んだ	栗下 直也	ウーマン・イン・バトル 自由・平等・シスターフッド!	マルタ・ブレーン
人生は、棚からぼたもち! 86歳・料理研究家の老後を楽しく味わう30のコツ	小林 まさる	在米被爆者	松前 陽子
●懐かしの昭和ドライブイン	越野 弘之	仕事ごっこ	沢渡 あまね
鳥瞰図で楽しむ日本百名山 2019	成美堂出版	地図から読み解く自然災害と防災 (減災)	酒井 多加志
ホノルルの歩き方 2020	ダイヤモンド・ビッグ社	ナガサキ 核戦争後の人生	スーザン・サザード
とてつもない失敗の世界史	トム・フィリップス	老活・終活のウソ、ホント70	川村 匡由
沈黙の子どもたち 軍はなぜ市民を大量殺害したか	山崎 雅弘	3歳からできるお片づけ習慣	伊東 裕美
考古学から学ぶ古墳入門	松木 武彦	あなたは何で食べてますか? 偶然を仕事にする方法	有北 雅彦
世界史のなかの蒙古襲来	宮脇 淳子	欲望の資本主義 3	丸山 俊一
ベリリユー玉砕 南洋のサムライ・中川州男の戦い	早坂 隆	SDGs入門	村上 芽
昭和・平成現代史年表 増補完全版 1923年~2019年	神田 文人	海外で研究者になる	増田 直紀
物語オーストリアの歴史	山之内 克子	ウイグル人に何が起きているのか	福島 香織

新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 10 月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
フォト・ドキュメンタリー朝鮮に渡った「日本人妻」	林 典子	5 技術・工業・家事	
日本人は「やめる練習」がたりてない	野本 響子	● 何が「いただく」じゃ！	姫野 カオルコ
鳥羽・志摩の海女	塚本 明	素材の旨味を引き出す塩とこしょうのシンプルレシピ	浜内 千波
● ドキュメント豪雨災害 西日本豪雨の被災地を訪ねて	谷山 宏典	手作りしたい大人の帽子と斜めがけバッグ	ブティック社
世界の民族衣装図鑑	文化学園服飾博物館	波濤を越えて 叩き上げ海保長官の重大事案ファイル	佐藤 雄二
すぐに役立つ財産管理(信託・成年後見・遺言)の法律知識と活用法	松岡 慶子監修	スパイスのまほう	印度カリー子
4 自然科学・医学		正解の服、教えてもらいました。	Dcollection監修
Penguin Being 今日もペンギン	岡田 裕介写真	凍ったまますぐ使える1人分冷凍パック	村上 祥子
月と暮らす。新版	藤井 旭	大人の献立ルールは2品で10分500kcal	今泉 久美
老いる自分をゆるしてあげる。	上大岡 トメ	純喫茶レシピ	高山 かづえ
かむ・飲み込むが難しい人のごはん	藤谷 順子監修	無印良品でつくる「性格」「クセ」「好み」に合ったマイフィット収納	梶ヶ谷 陽子
● 150年前の科学誌『NATURE』には何が書かれていたのか	瀧澤 美奈子	シニア世代のゆったりワンピース	ブティック社
星を楽しむ天体望遠鏡の使いかた	大野 裕明	アニマル大好き！こもの	アップルミンツ
超危険！スズメバチLIFE	丸沢 丸	人生が変わる料理道具	エイ出版社
とんでもない甲虫	丸山 宗利・福井 敬貴	日本ビール缶大全	長谷川 正人
長寿時代の医療・ケア エンドオブライフの論理と倫理	会田 薫子	にんにくの料理	有元 葉子
日本人にとって自然とはなにか	宇根 豊	野口真紀のわたしの好きなトマト料理	野口 真紀
キリン解剖記	郡司 芽久	容器に入れてチンするだけ！ほぼ1ステップで作れるレンジ飯	リュウジ
糖質制限の大百科	江部 康二監修	遠藤香代子の漬けおき入門	エイ出版社
医者が教える「がん」にならない30の習慣	近藤 誠	「ドライフラワーの名前」300がよくわかる図鑑	主婦と生活社
● そろそろ、からだにいいことを考えてみよう	伊藤 まさこ	世界のおつまみレシピ	本山 尚義
トポロジー入門 奇妙な図形のからくり	都筑 卓司	絶壁建築めぐり 日本のお寺・神社	飯沼 義弥
プリンシピア 第2編 抵抗を及ぼす媒質内での物体の運動	アイザック・ニュートン	あんしん、やさしい最新離乳食オールガイド 5か月～1歳6か月ごろまで	堤 ちはる監修
NHKカッテン！フレイル予防で、一生歩ける！介護いらずの若返りワザ	NHK科学・環境番組部	清潔な暮らしは1枚のタオルからはじまる	新津 春子
礼文・利尻 花と自然の二島物語	杉田 美野里・宮本 誠一郎	ディズニーツムツムあみぐるみBOOK	城戸 珠美
クマムシ調査隊、南極に行く！	鈴木 忠	そうめんの本	市瀬 悦子
体が整うツボの解剖図鑑	福辻 鋭記	● ハツ江おばあちゃんの定番おかず	高木 ハツ江
食品添加物用語の基礎知識 第2版	小藪 浩二郎監修	今すぐ使えるかんたんWord完全(コンプリート)ガイドブック困った解決&便利技	AYURA
おしゃべりながんの図鑑	小倉 加奈子	6 産業・商業	
もっと知りたい動物園と水族館 園長のはなし、飼育係のしごと	小宮 輝之	女性のための鉄道旅行入門	蜂谷 あす美
熟年期障害	平澤 精一	交通誘導員ヨレヨレ日記 当年73歳、本日も炎天下、朝っぱらから現場に立ちます	柏 耕一
トラウマのことがわかる本	白川 美也子監修	日航123便墜落の波紋	青山 透子
アザラシの赤ちゃん	小原 玲	47都道府県・商店街百科	正木 久仁・杉山 伸一

新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 10 月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
6 産業・商業		913 日本の小説	
世界の夢のショッピングモール&デパート	パイインター ナショナル	● チンギス紀 5 絶影	北方 謙三
ネット予約時代の困ったお客のトリセツ	飯野 たから	スワロウテイルの消失点 (法医昆虫学捜査官 7)	川瀬 七緒
観光公害 インバウンド4000万人時代の副作用	佐滝 剛弘	54字の物語 史	氏田 雄介 ・西村 創
ちょっと自慢できるヒコークの雑学100	チャーリー古庄	八本目の槍	今村 翔吾
麺の科学	山田 昌治	呼吸する町	黒木 渚
日本潮風の花スタートBOOK	析の葉書房	手のひらの楽園	宮木 あや子
拓北農兵隊 戦災集団疎開者が辿った苦闘の記録	石井 次雄	おじさんのトランク	芦辺 拓
遺体と火葬のほんとうの話	佐藤 信顕	夏の騎士	百田 尚樹
カラー図鑑スパイスの秘密	ジル・デイヴィーズ	● てんげんつう(「しゃばけ」シリーズ 18)	畠中 恵
7 芸術・スポーツ		緋(あか)い川	大村 友貴美
● ラグビー語辞典	齊藤 健仁	純子	赤松 利市
図説ヨーロッパ宮廷を彩った陶磁器	Cha Tea紅茶教室	最後のページをめくるまで	水生 大海
大人かわいいおしゃれ折り紙&雑貨	日本ペーパー アート協会	極限の婚約者たち	新堂 冬樹
最高のラジオ体操 一生動けるカラダをつくる!	青山 敏彦	● ジョン・マン 7 邂逅編	山本 一力
俺たちはどう生きるか	大竹 まこと	● 我が少女A	高村 薫
● ラグビーのルール 超・初級編	中野 良一・ 木谷 友亮	未来を、11秒だけ	青柳 碧人
心を強くする 「世界一のメンタル」50のルール	サーシャ・バイン	● 剣樹抄	冲方 丁
石川九楊のほんとうに書がわかる 九つの法則	石川 九楊	● いけない	道尾 秀介
自分らしく パニック障害と共に生きる	小谷野 栄一	龍の袖	藤原 緋沙子
● NETFLIXコンテンツ帝国の野望	ジーナ・ キーティング	道化師の退場	太田 忠司
永遠なれ魯山人	山田 和監修	三毛猫ホームズと七匹の仲間たち	赤川 次郎ほか
はじめてのテント山行	栗山 祐哉監修	鎌倉うずまき案内所	青山 美智子
五輪書 わが道をひらく	宮本 武蔵	十津川警部追憶のミステリー・ルート トラベル・ミステリー傑作集	西村 京太郎
山小屋ガールの癒されない日々	吉玉 サキ	スズメの事ム所 駆け出し探偵と下町の怪人たち	朱川 湊人
日本の文様解剖図鑑	笥 菜奈子文・絵	春淡し(吉原裏同心抄 6)	佐伯 泰英
● 「大家さんと僕」と僕	矢部 太郎ほか	旅仕舞(新・酔いどれ小籐次 14)	
● 狂言を生きる	野村 万作	愛してるって言えなくたって	五十嵐 貴久
教養としての将棋 おとなのための「盤外講座」	梅原 猛ほか	ランチ酒 おかわり日和	原田 ひ香
なんてったって邦楽	釣谷 真弓	風はずっと吹いている	長崎 尚志
8 言語		お願いおむらいす	中澤 日菜子
● 英文法のトリセツ 新装版	阿川 イチロヲ	ウナノハテノガタ	大森兄弟
奇跡の朗読教室 人生を変えた21の話	齊藤 ゆき子	● 店長がバカすぎて	早見 和真

新 着 図 書 案 内 令 和 元 年 10 月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● 夏物語	川上 未映子	カリスマvs. 溝鼠 悪の頂上対決	新堂 冬樹
● 途中下車はできません	山本 巧次	いかれころ	三国 美千子
魔偶の如き齋すもの	三津田 信三	一分	坂岡 真
へぼ侍	坂上 泉	いるいないみらい	窪 美澄
● 黄金夜界	橋本 治	● 黄色い実(紅雲町珈琲屋こよみ 7)	吉永 南央
● さよならの儀式	宮部 みゆき	川っぺリムコリッタ	荻上 直子
天使も怪物も眠る夜	吉田 篤弘	綾峰音楽堂殺人事件	藤谷 治
ツキノネ	乾 緑郎	マタタビ町は猫びより	田丸 雅智
● クジラアタマの王様	伊坂 幸太郎	津軽龍飛崎殺人紀行	梓 林太郎
神前酔狂宴	古谷田 奈月	9 その他の文学	
そりゃないよ(よろず相談屋繁盛記 3)	野口 卓	カリ・モーラ	トマス・ハリス
化物蠟燭	木内 昇	● なんにもなかった 戦中・戦後の暮しの記録 拾遺集戦後編	暮しの手帖社
あむんぜん	平山 夢明	この顔と生きるということ	岩井 建樹
時代小説ザ・ベスト 2019	日本文藝家協会編	ブスの自信の持ち方	山崎 ナオコーラ
空と湖水 夭折の画家三橋節子	植松 三十里	● 三体	劉 慈欣
決戦! 広島城	松永 弘高	抽斗のなかの海	朝吹 真理子
● 希望の糸	東野 圭吾	ベスト・エッセイ 2019	日本文藝家協会編
● カザアナ	森 絵都	じゃじゃ馬にさせといて	松田 青子
サリエルの命題	榆 周平	いきたくないのに出かけていく	角田 光代
君たちは今が世界(すべて)	朝比奈 あすか	● 自由思考	中村 文則
赤い白球	神家 正成	● 「歌だけが残る」と、あなたは言った わが父、阿久悠	深田 太郎
ガラスの城壁	神永 学	山藤章二の四行大学	山藤 章二
出身成分	松岡 圭祐	ふたりの村上 村上春樹・村上龍論集成	吉本 隆明
旧友再会	重松 清	● 井上ひさしベスト・エッセイ	井上 ひさし
みどり町の怪人	彩坂 美月	カルカッタの殺人	アビール・ムカジー
源平の怨霊 小余綾俊輔の最終講義	高田 崇史	旅の窓からでっかい空をながめる	椎名 誠
ぬるくゆるやかに流れる黒い川	櫛木 理宇	季語を知る	片山 由美子
将軍家康の女影武者	近衛 龍春	空を見てくださいか…10 忘れない、ということ	池辺 晋一郎
家康謀殺	伊東 潤	沈黙の作法	山折 哲雄 ・柳 美里
ハッピーアワーは終わらない かがやき荘西荻探偵局	東川 篤哉	ある一生	ローベルト・ ゼーターラー
愛が嫌い	町屋 良平	私たち異者は	ステイーヴン・ ミルハウザー
トランスファー	中江 有里	100年人生七転び八転び 「知的試行錯誤」のすすめ	外山 滋比古
● 亥子ころころ	西條 奈加	1793	ニクラス・ ナット・オ・ダーグ

利用者カードはご自分のものを

1枚の利用者カードをご家族などで共同で利用されている場合、図書館からの連絡が上手くご本人様に伝わらないことがあります。

そのため1人1枚カードを作成の上、ぜひご自身の利用者カードをご使用ください。

図書館では住所や氏名がわかるもの（免許証や保険証、学生証など）をお持ちいただければ利用者カードをその場で発行しています。作成に年齢制限はありませんのでどなたでも発行できます。カード作成はカウンターでお申し出ください。



図書館カレンダー 令和元年(2019年) 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 ブックスタート 分館休館	4	5 映画会
6	7 本館休館	8	9	10 分館休館	11	12 えほんのへやのおはなし会
13	14 体育の日 本館休館	15 祝日振替 本館休館	16	17 ビブリオのタペ 分館休館	18	19
20	21 本館休館	22 即位の礼 本館休館	23	24 分館休館	25 図書整理日 本館休館 分館休館	26 分館イベント おはなしほけっと
27	28 本館休館	29	30 ライブラリー スタート おはなし会	31 分館休館	11/1	11/2 映画会

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00